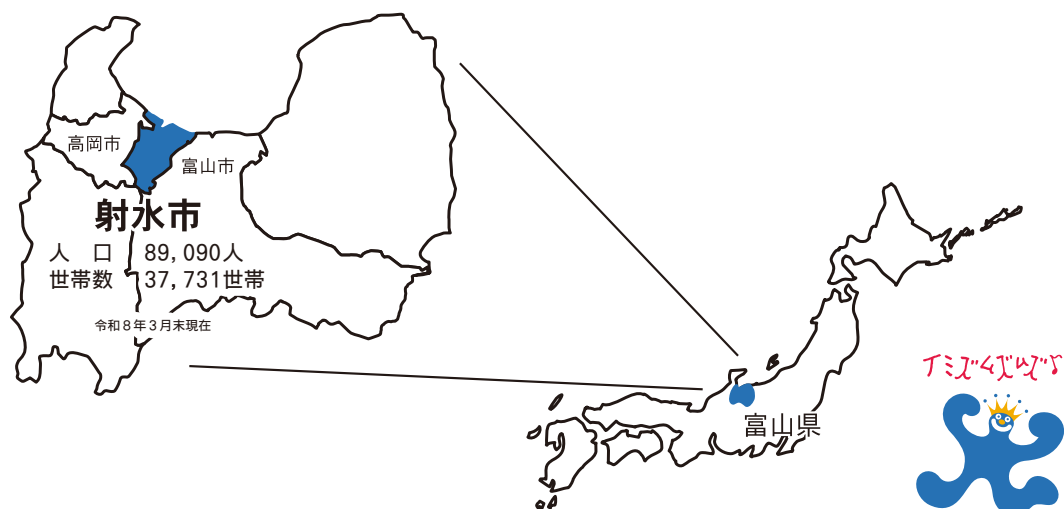


令和9年度 重点事業要望書

 富山県射水市



射水市位置図



射水市の「花」、「木」、「花木」、「さかな」

(平成20年10月1日制定)

花



カワラナデシコ
(なでしこ)

選定理由 庄川の自然の営力と、その水の恩恵を象徴

里山や川原に分布しています。特に河川敷に多く、栽培も容易です。
なお、カワラナデシコが基本ですが、広く市民の皆さんに親しんでもらえるよう、()書きでなでしことしています。(※)

木



とねりこ

選定理由 市の潜在的な自然・風土・文化を象徴

かつて、射水平野の湿地地帯の水路やたんぼ道等に植えられており、水郷のシンボルとなっていました。

現在、水郷の里に約260株植樹されています。

また、下村加茂神社境内の裏に、水郷当時のものと思われるとねりこの一種の高木が数本存在しています。

花木



あじさい

選定理由 市民の明るさと粘り強さ、きららか射水を象徴

多雪地帯に適応し、重い雪にも耐える粘り強さがある花木です。市内にはヤマアジサイ系の野生種が自生しており、他の種や園芸品種も多く栽培されています。

また、6月には、「太閤山あじさい祭り」が行われています。

※カタカナ書きは和名であり種そのものを、ひらがな書きはそのグループ(なかま)を示しています。

さかな



シラエビ

選定理由 富山湾の神秘と活力あふれる射水、市民の勤勉さを象徴

富山湾の海底谷(あいがめ)に生息しており、世界唯一の漁獲地となっています。

からだは、透明な淡いピンク色で絶えず動いており、「富山湾の宝石」と呼ばれています。

なお、正式な学術名である「シラエビ」という名称にしました。



ベニズワイガニ

選定理由 富山湾の多様な生物相ときららか射水を象徴

日本海の海深に広く分布する深海動物の代表種です。10月に行われる「新湊力二かに海鮮白えびまつり」の主役にもなっています。

漁業者は、漁港と漁場が近いことから「一日完結型」をモットーとして処理するため、かに本来の味が失われず新鮮な味覚は最高と評価されています。



アユ

選定理由 川と海の豊かな自然と躍動する市民を象徴

秋に川でふ化して海に渡り、稚魚は春に川を遡上することから、川と海をつなぐ回遊魚です。その体は均整がとれ芳香があり、泳ぎが俊敏な清流魚として知られています。

日頃から市勢伸展のため格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

本市は、「いろどり ひろがる ムズムズ射水^{い みず}」をまちの将来像に掲げ、個性や価値観を尊重し、違いを認め合う多様性・寛容性のあるまち、様々な地域資源が輝きを放つまち、それらがひろがり、重なり合うことによって新しい価値や支え合い、交流が生まれるまちの実現を目指し、一層の飛躍に向けた諸施策を進めているところであります。

つきましては、令和9年度の予算編成に当たり、別紙の重点事業に格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

富山県射水市長 夏野元志



富山県射水市議会議長 高橋久和



目 次

1	万葉線の維持・活性化に係る支援措置について（継続）	1
2	大島駐在所の機能強化（移転・交番化）について（再要望）	2
3	子育て支援の推進について（再要望）	3
4	企業誘致の促進について（継続）	4
5	漁港施設及び港湾施設の機能強化対策の計画的な推進について （継続）	5
6	農村地域防災減災事業「針山口六ヶ用水地区」の事業推進及び庄川 右岸地域における用排水対策の早期事業化について（継続）	6
7	県営農地整備事業「島地区」、「作道地区」、「荒町地区」の事業推進及び 「北高木地区」、「宮新田地区」の事業採択について（新規・継続）	7
8	大区画ほ場整備に向けた事業調査の実施について（継続・再要望）	8
9	ため池「女池」及び「中堤」の整備促進について（再要望）	9
10	農村地域防災減災事業「射水排水機場地区」の事業推進及び排水機場 （国営事業）の老朽化対策について（継続）	10
11	都市再生整備計画（小杉地区）の推進について（継続）	11
12	都市公園施設長寿命化計画による遊具更新の推進について（新規）	12
13	新庄川橋の架替えについて（継続）	13
14	主要地方道小杉婦中線のバイパス整備について（再要望）	14
15	（仮称）七美四方荒屋線の整備促進について（継続）	15
16	一般県道姫野能町線（都市計画道路北島牧野作道線）の整備促進に ついて（継続）	16
17	主要地方道高岡小杉線（都市計画道路太閤山高岡線）五歩一交差点 立体化事業の整備促進について（継続）	17
18	踏切道の安全対策について（継続）	18
19	液状化対策の推進について（継続）	19

20	庄川直轄河川改修事業の整備促進について（継続）	20
21	伏木富山港新湊地区（富山新港）における港湾機能の強化と長寿命化 の推進について（継続）	21
22	伏木富山港新湊地区（富山新港）海王岸壁におけるクルーズ船受入 機能の拡充について（継続）	22
23	海王丸パークのリニューアルについて（新規）	23
24	海老江海浜公園の魅力向上・賑わい創出に向けた取組の推進について （継続）	24
25	庄川水系利賀ダムの建設促進について（継続）	25
26	河道流下断面の確保（親司川・鴨川・下条川・堰場川）について （継続）	26
27	前田川改修事業及び下条川の侵食対策について（継続）	27
28	法務局地図作成事業について（新規）	28
29	重要施設配水管の耐震化の推進について（継続）	29
30	下水道事業（老朽化対策・浸水対策）の推進について（継続）	30
31	学校教育施設の整備について（新規）	31
32	小学校及び中学校給食費の完全無償化について（継続）	32
33	小中学校の英語教育充実に対する財政措置について（再要望）	33
34	県立高校の特色ある教育の充実について（継続）	34
35	部活動の地域展開に対する財政支援について（継続）	35
36	「下村加茂神社の加茂祭（流鏝馬を含む）」の国重要無形民俗文化財 指定について（再要望）	36
37	「射水市海老江・大門の曳山行事」の富山県文化財指定について （再要望）	37
38	民俗文化財伝承・活用等事業（放生津八幡宮祭の曳山・築山行事）の 推進について（継続）	38
39	（仮称）高志大学の設立について（新規）	39

1 万葉線の維持・活性化に係る支援措置について（継続）

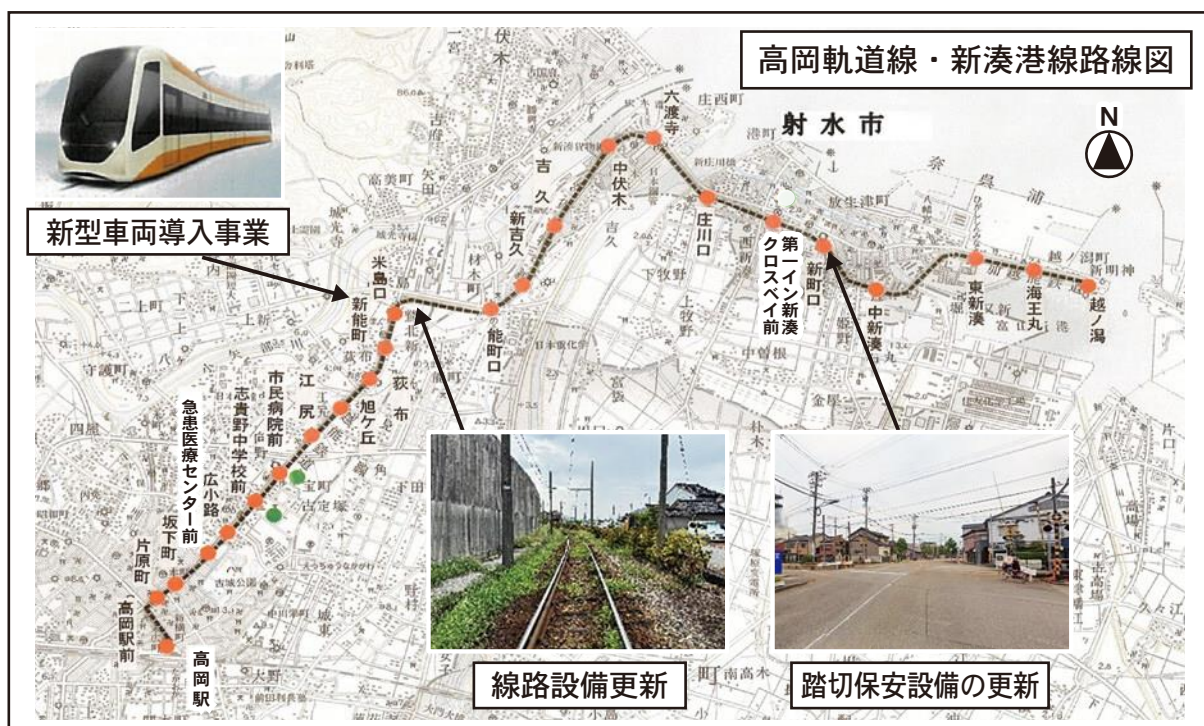
国	国土交通省鉄道局
	北陸信越運輸局
県	交通政策局地域交通・新幹線政策室交通戦略企画課

万葉線は、地域生活路線として極めて重要な役割を果たしていることから、平成14年度に富山県の支援と射水、高岡両市民等の参加・協力を得て、万葉線株式会社が設立され、運営にあたっています。

本市では、高岡市、万葉線株式会社と一体となって、万葉線の維持・活性化に努めているところですが、安全安心な運行を確保するため、新型車両への更新などの老朽化施設・設備等の更新等に、今後も多大な経費を要すると見込んでいます。また、物価高騰に伴い、燃料費や資材費、工事費等が増大しているほか、今後、新庄川橋架替事業に伴う費用負担も発生するなど、将来の経営に大きな不安を抱えています。

つきましては、万葉線に対する支援事業について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
鉄道施設総合安全対策事業等	射水市 高岡市	万葉線 株式会社	レールの重軌条化、枕木更新、道床碎石更新、踏切保安設備の更新
新型車両導入事業			新型車両6編成の更新等
新庄川橋架替事業			鉄道事業者の負担に係る支援



2 大島駐在所の機能強化（移転・交番化）について（再要望）

県 警 察 本 部 地 域 部

大島地域は、幹線道路沿いに商業施設が進出するなど、都市化が著しい地域です。また、エリア内には越中大門駅があり、人の行き来も多いことから、各種犯罪の発生や交通事故件数の増加が懸念されており、平成31年2月には、殺人事件も発生しています。

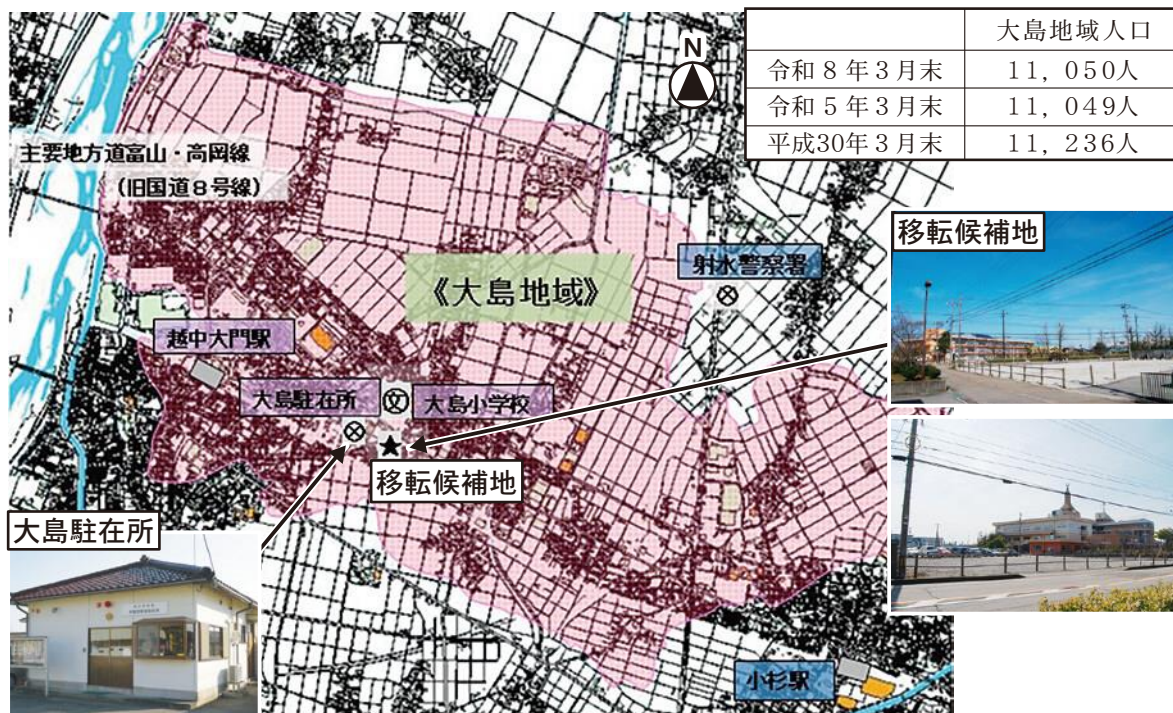
こうしたことから、現在の大島駐在所を、地域住民をはじめ誰もがわかりやすく、かつエリアの中心軸である主要地方道富山・高岡線に面する場所へ移転し交番化することで、犯罪抑止及び交通事故防止に大きな効果が期待できると考えています。

つきましては、防犯体制の強化及び地域住民の体感治安の向上を図るため、大島駐在所の機能強化（移転・交番化）について、格別のご配慮をお願いいたします。

なお、本市といたしましては、移転先候補地として、現在の駐在所から約200メートル東側の県道沿いの市有地をご提案したいと考えております。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
大島駐在所の機能強化	大島地区	県	移転・交番化

写 真・位置図



3 子育て支援の推進について（再要望）

国	こども家庭庁成育局
県	厚生部こども家庭室子育て支援課

こどもの健やかな成長や子育て世帯の経済的支援等、子育て支援の観点から、県内市町村では国・県の支援制度に上乗せし、様々な取組を行っており、安心して子育てができる環境の構築に努めております。

しかしながら、市町村ごとに独自に制度を拡充しているため、自治体の財政力等により対応が異なり、かえって自治体間の競争を煽る結果となっています。

こうしたことから、未来を担うこどもを安心して産み育てることができる社会の実現を目指し、国の「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組を推進しているこの機会にこそ、国・県・市町村が一体となり、全国あるいは県内一律の取組を推進することが重要と考えます。

本市においては、令和7年4月から独自で第2子にかかる保育料を全額無償とし、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組んでおり、国及び県の更なる財政支援をお願いいたします。

併せて、保育所等副食費軽減事業については、国及び県の各要件を撤廃し、更には、軽減対象を第2子まで拡大すること、また、子ども医療費助成事業については、現行の財政支援を早期に18歳まで拡大するなど、国及び県の子育て支援の拡充並びに財政支援について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	国・県制度	本市独自制度
第2子保育料無償化事業	国：①年収360万円以上世帯のきょうだい同時入所の第2子は半額 ②年収360万円未満世帯の第2子は半額 県：国制度適用後、年収360万円未満世帯の第2子は無償	第2子以降は無償
保育所等副食費軽減事業	国：①年収360万円未満世帯の児童は無償 ②きょうだい同時入所の第3子以降は無償 県：年収360万円以上年収640万円未満世帯の第3子以降は無償	第3子以降は無償
子ども医療費助成事業	国：助成なし 県：小学校6年生まで助成	高校3年生まで全額助成

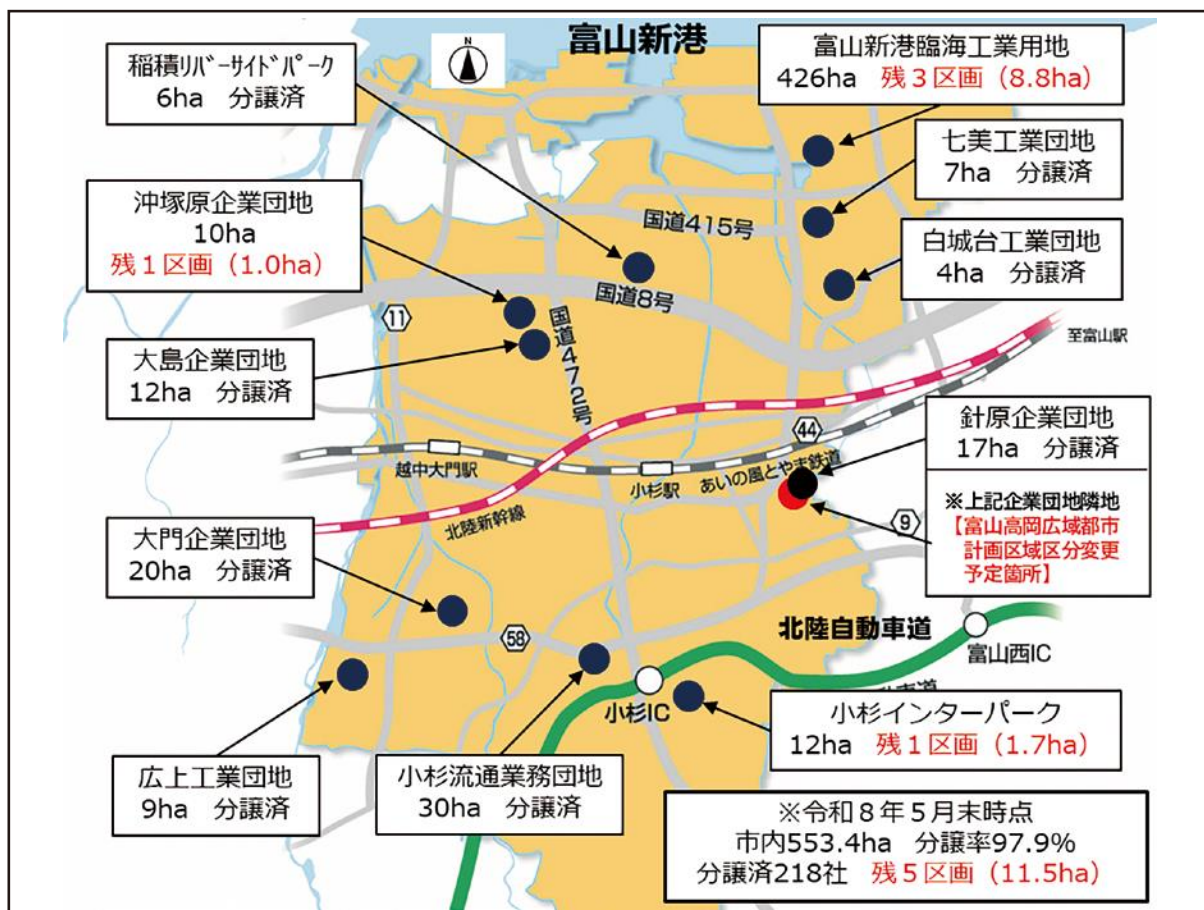
4 企業誘致の促進について（継続）

県	商工労働部立地通商課
	農林水産部農業経営課
	土木部都市計画課
	土木部建築住宅課

県におかれましては、令和7年7月に「富山県企業誘致戦略」を策定され、本市におきましても、戦略の目的である成長産業の誘致、魅力的な雇用創出及び地域活性化を目指したいと考えております。中でも、グリーン、デジタルといった成長産業の誘致につきまして、格別のご支援をお願い申し上げます。

また、本市では、今般の富山高岡広域都市計画区域区分の変更を踏まえ、令和7年度に実施した射水市企業団地適地調査で挙げた候補地の中から、既存企業団地の拡張、または新たな企業団地の整備を進めることとしています。なお、新たな企業団地の造成にあたっては、農地転用等の諸手続きに相当の期間を要することから、進出を希望する企業ニーズへの迅速な対応が困難となることが想定されます。

つきましては、緊密な連携による効果的な企業誘致活動の展開に加え、新たな企業団地造成に係る諸手続きの迅速化について、格別のご配慮をお願いいたします。



5 漁港施設及び港湾施設の機能強化対策の計画的な推進について（継続）

県	農 林 水 産 部 水 産 漁 港 課
	土 木 部 港 湾 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー
	富 山 新 港 管 理 局

近年の台風や異常気象に伴う発達した低気圧による高波や寄り回り波が、新湊漁港周辺や堀岡船だまり等の防波堤や護岸を越波し、係留漁船や施設等において多大な被害が発生しています。

つきましては、被害を受けた漁港インフラの迅速な復旧支援と防波堤のかさ上げや消波ブロックの積み増し等、新湊漁港や堀岡船だまりの機能強化について、格別のご配慮をお願いいたします。

加えて、新湊漁港では、漁労作業の効率化を図るため、漁船の大型化が進んでおり、漁船停泊施設の整備が喫緊の課題となっております。さらに、新湊漁港は第三種漁港に指定されており、全国の漁業者が利用する際の停泊場所の確保も必要なことから、漁船停泊施設の拡張・整備等についても、格別のご配慮をお願いいたします。

事 業 名	事 業 箇 所	事業主体	事 業 概 要 等
漁港・港湾施設機能強化事業	新湊漁港（西地区） 新湊漁港（東地区） 堀岡船だまり	県	防波堤改良工事等 漁船停泊施設の拡張・整備等

位 置 図



6 農村地域防災減災事業「針山口六ヶ用水地区」の事業推進及び庄川右岸地域における用排水対策の早期事業化について（継続）

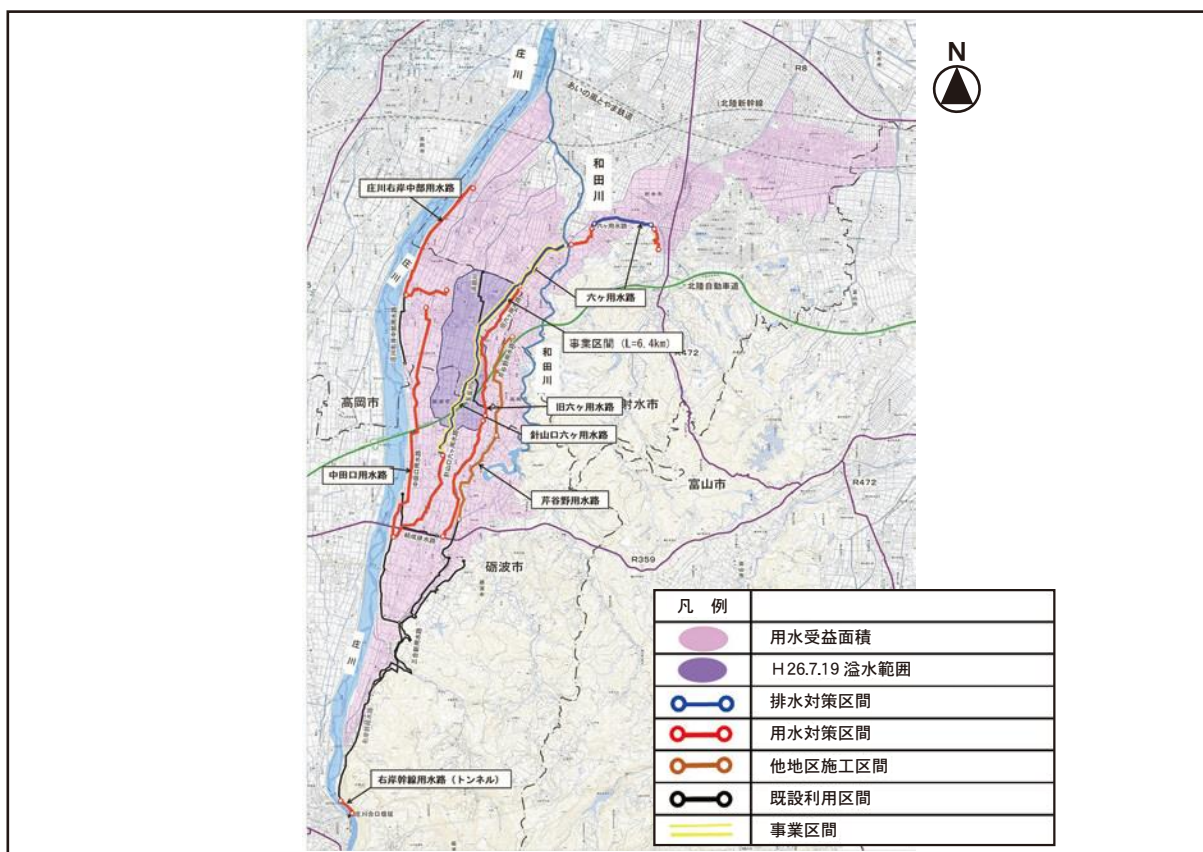
国	農 林 水 産 省 農 村 振 興 局
	北 陸 農 政 局
県	農 林 水 産 部 農 村 整 備 課
	高 岡 農 林 振 興 セ ン タ ー

本市を含めた3市を流下する庄川右岸地域の基幹的用排水路は、施設の著しい老朽化に加え、自然的・社会的変化に伴い洪水被害が発生しております。

つきましては、農業・農村の持続的な発展と農村環境の保全、流域治水の推進を図るため、庄川右岸地域における水路改修等の早期完成に向け、格別のご配慮をお願いいたします。

併せて、排水先の和田川流域住民の安全安心な生活環境の確保を図るため、当該河川の排水負荷軽減策の推進に格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
農村地域防災減災事業	針山口六ヶ用水地区	県	用排水路改修 L = 6.4 km (採択延長 L = 3.0 km)
	庄川右岸地域	県	六ヶ用水路の調査・水路改修



7 県営農地整備事業「島地区」、「作道地区」、「荒町地区」の事業推進及び「北高木地区」、「宮新田地区」の事業採択について（新規・継続）

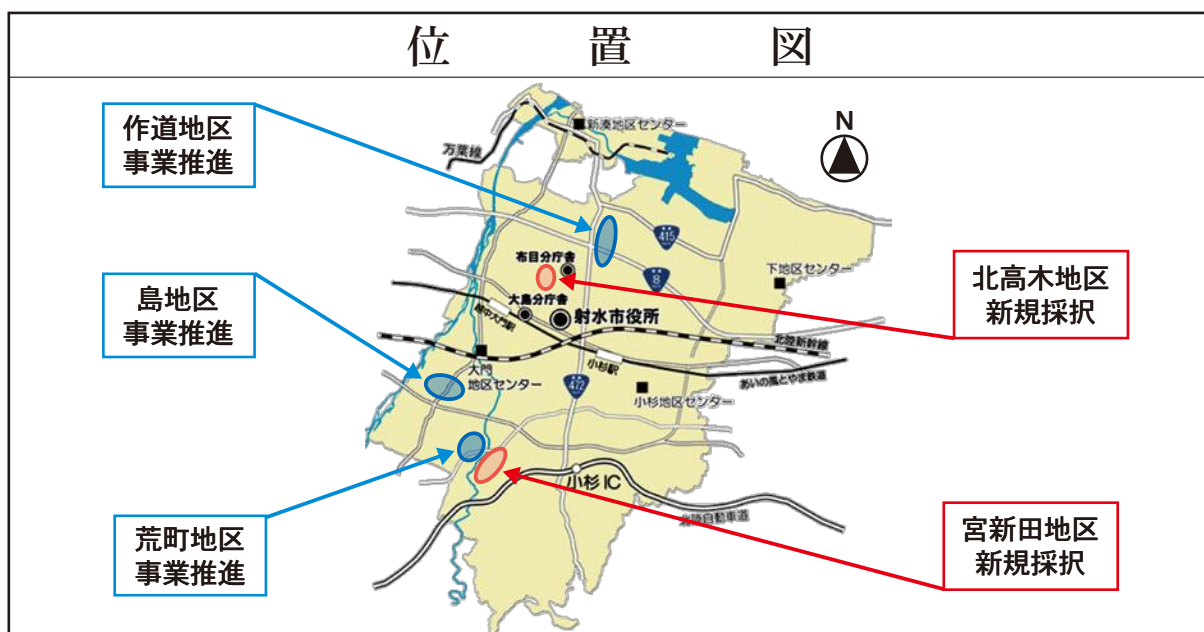
国	農 林 水 産 省 農 村 振 興 局 北 陸 農 政 局
県	農 林 水 産 部 農 村 整 備 課 高 岡 農 林 振 興 セ ン タ ー

本市では、集落営農組織をはじめとした大規模な経営体の育成を進めており、市内全農地の約87%が担い手に集約され、県内平均の約71%を上回っております。

しかしながら、10a区画のほ場が多く、ほ場整備率は64%と県内平均の86%を下回っており、また、農道や用水路の老朽化が進んでいることから、より効率の良い水田経営を展開するため、ほ場の整備が求められております。

つきましては、農業・農村の持続的な発展と農村環境の保全を図るため、県営農地整備事業の島地区、作道地区、荒町地区における早期完成に向けての事業推進及び北高木地区、宮新田地区における新規事業採択に格別のご配慮をお願いいたします。

事 業 名		事 業 箇 所	事業主体	受益面積
県 営 農 地 整 備 事 業	継 続	島地区【事業推進】	県	50.4ha
		作道地区【事業推進】	県	37.5ha
		荒町地区【事業推進】	県	16.1ha
	新 規	北高木地区【新規事業採択】	県	19.4ha
		宮新田地区【新規事業採択】	県	28.2ha



8 大区画ほ場整備に向けた事業調査の実施について（継続・再要望）

県	農 林 水 産 部 農 村 整 備 課
	高 岡 農 林 振 興 セ ン タ ー

本市では、集落営農組織をはじめとした大規模な経営体の育成を進めており、市内全農地の約８７％が担い手に集約され、県内平均の約７１％を上回っております。

しかしながら、１０ａ区画のほ場が多く、ほ場整備率は６４％と県内平均の８６％を下回っており、また、農道や用水路の老朽化が進んでいることから、より効率的な水田経営を展開するため、複数地区において、ほ場の整備が求められております。

つきましては、農業・農村の持続的な発展と農村環境の保全を図るため、大区画ほ場整備の早期事業化に向けた事業調査に格別のご配慮をお願いいたします。

事業名		事業箇所	事業主体	受益面積
【早期事業化】 事業調査	継 続	七美地区（２工区）	県	100.0ha
		本江地区（３工区）	県	130.0ha
		三箇地区（２工区）	県	85.0ha
		大島地区（３工区）	県	93.2ha
		加茂地区（３工区）	県	100.0ha
		新田・宮新田地区	県	30.1ha
	再要望	白石・倉垣小杉・八講地区（３工区）	県	120.0ha
		摺出寺地区	県	40.0ha
		二口地区（４工区）	県	155.0ha
		市井・藤巻地区	県	41.0ha
		若林・竹鼻地区	県	38.0ha

9 ため池「女池」及び「中堤」の整備促進について（再要望）

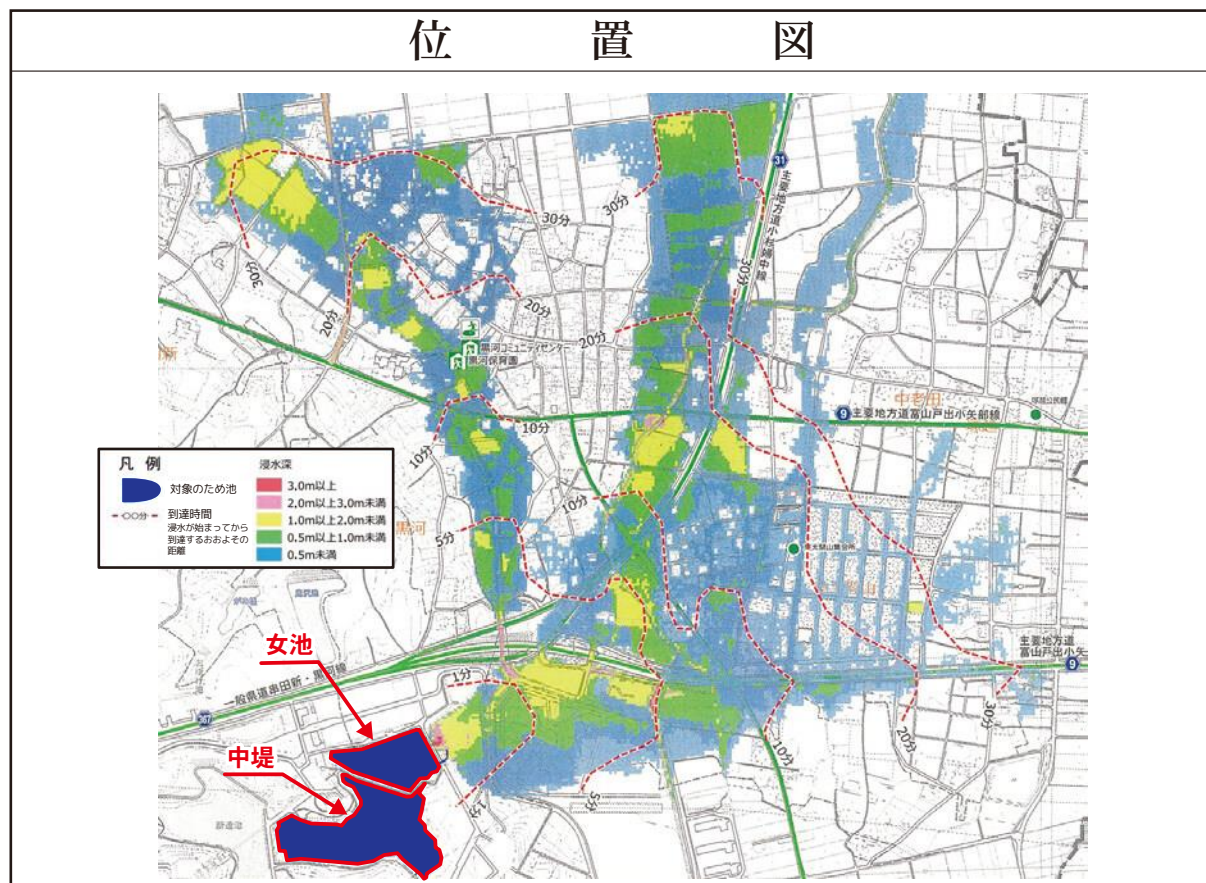
国	農林水産省農村振興局 北陸農政局
県	農林水産部農村整備課 高岡農林振興センター 土木部都市計画課

本市には、「防災重点農業用ため池」に指定されているため池が40箇所あり、中でも県内最大の都市公園、県民公園太閤山ランド内にある、ため池「女池」、「中堤」は、特に大規模地震や豪雨等の外的要因により、堤体が決壊すると、地域の浸水をはじめとした大規模な被害を及ぼすことが懸念されております。

つきましては、災害の未然防止による地域の安全確保のため、防災重点農業用ため池緊急整備事業の早期実施に格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
防災重点農業用ため池緊急整備事業	太閤山ランド内（太閤山地区）	県	ため池「女池」・「中堤」の事業調査・整備

位 置 図



10 農村地域防災減災事業「射水排水機場地区」 の事業推進及び排水機場（国営事業）の 老朽化対策について（継続）

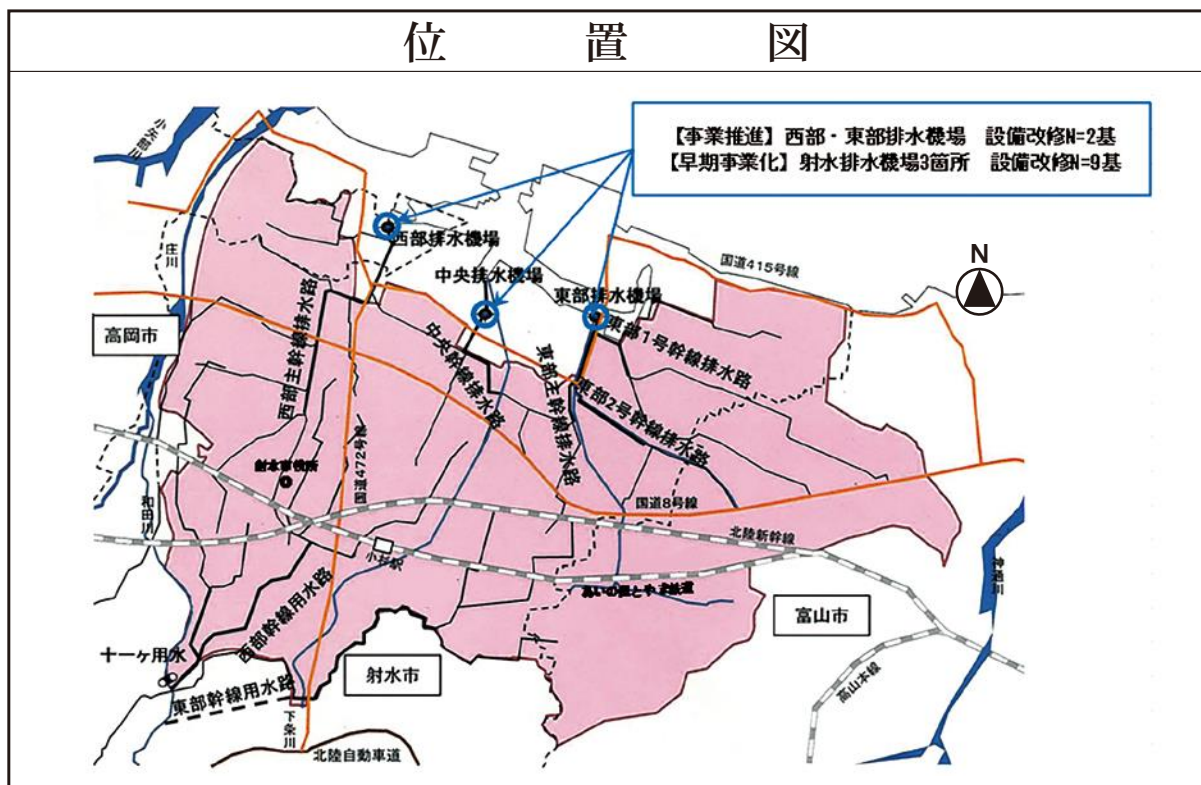
国	農林水産省農村振興局 北陸農政局
県	農林水産部農村整備課 高岡農林振興センター

国営射水平野農業水利事業及び国営射水郷総合農地防災事業で造成された西部、中央及び東部排水機場のディーゼルポンプ等の設備は、保守部品が廃番になるなど、施設の維持管理に支障をきたしております。

つきましては、異常気象による流域の農地の冠水被害の防止や排水機能の維持を確実にし、農業生産の維持及び農業経営の安定を図るため、射水排水機場地区における設備の早期完成に向けた事業推進、及び各排水機場における老朽設備の早期改修に格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
農村地域防災減災事業 （射水排水機場地区）	西部・東部排水機場	県	設備改修 N=2基
	射水排水機場 （3箇所）	国・県	事業調査・ 設備改修 N=9基

位置図



11 都市再生整備計画（小杉地区）の推進について（継続）

国	国土交通省都市局
	北陸地方整備局
県	土木部都市計画課

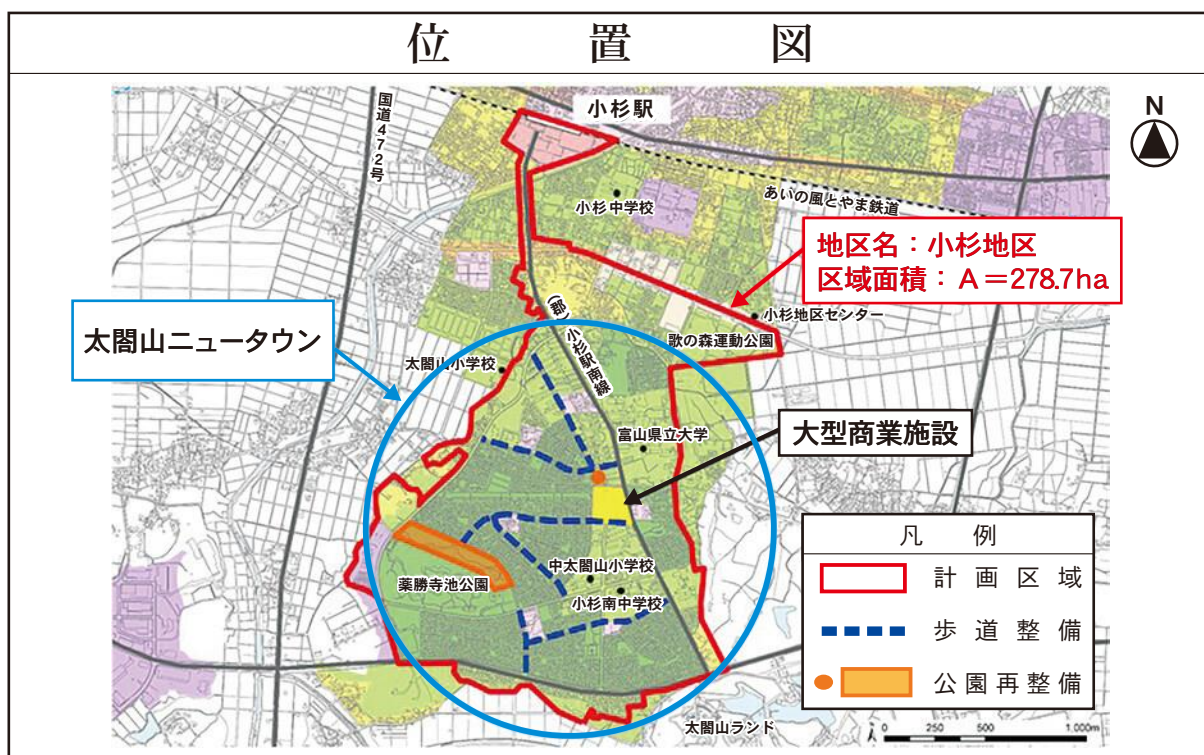
本市の太閤山地区は、大規模なニュータウン開発から50年余りが経過し、住民の高齢化が進んでいます。今後、人口減少による空家や空き地の増加等により、住環境の維持・保全や地域コミュニティの存続に支障をきたすことが懸念されます。

このことから、本市では、「射水市太閤山地区リノベーション計画」を策定し、国のハズオン支援を受けながら、地域住民や民間事業者等で構成する協議会で、様々な取組を進め、将来にわたり持続可能な住宅団地の再生を進めています。

また、本市では、官民連携によるまちづくり事業の一環として、子どもから高齢者まで多様な居住者が生き生きと暮らせる魅力あるまちづくりを目指し、地域の核となる大型商業施設へ続く安全な歩道の再整備と居心地の良い公園づくりを計画的に進めております。

つきましては、社会資本整備総合交付金の確保について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
社会資本整備総合交付金 （都市構造再編集中支援事業）	小杉地区 (278.7ha)	市	基幹事業 （道路、公園）等



12 都市公園施設長寿命化計画による遊具更新の推進について（新規）

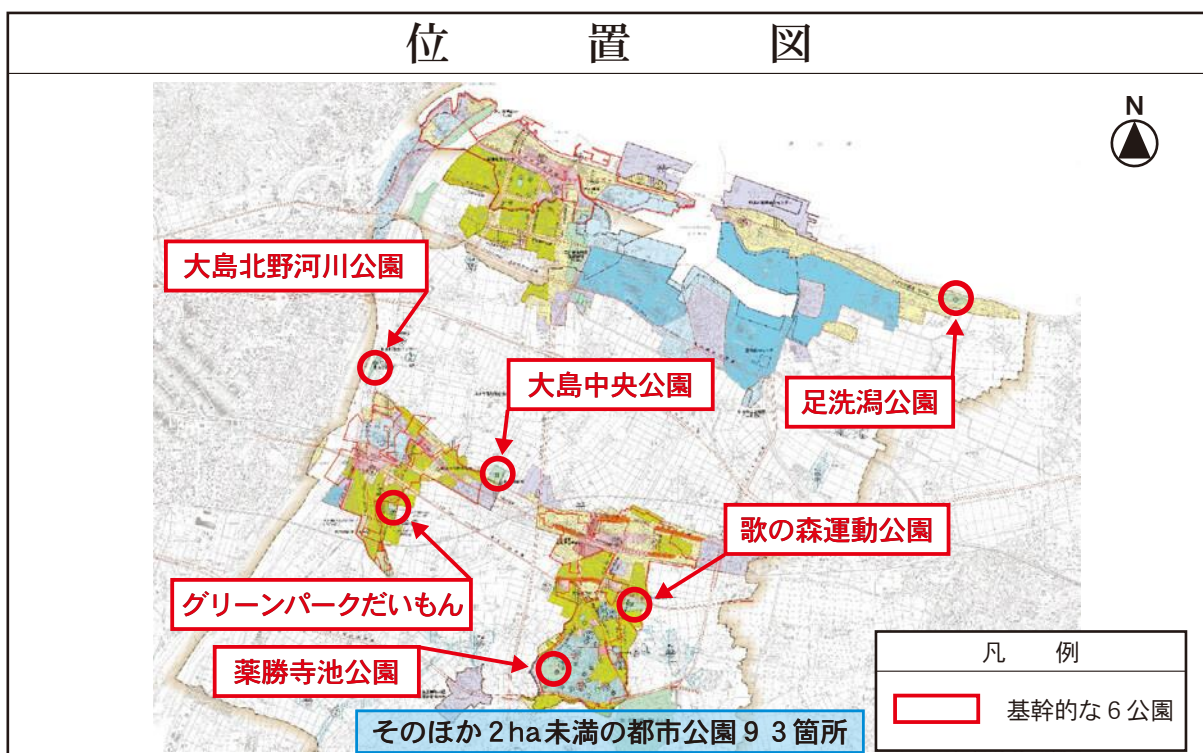
国	国土交通省都市局 北陸地方整備局
県	土木部都市計画課

本市は、遊戯施設を設置した都市公園を99箇所（約73ha）整備しており、その多くが設置から30年以上経過しています。今後、施設の老朽化による更新や修繕が急増するため、維持管理費の増大が懸念されます。

特に、大型複合遊具などを設置している基幹的な6公園は、都市公園施設長寿命化計画に基づき、安全に安心して利用できる都市公園の機能の維持や、ライフサイクルコストの縮減及び修繕・更新費用の平準化に取り組み、適切な公園管理を行う必要があります。また、これらの公園は災害時の避難場所となっており、施設の機能保全と安全対策を行うことで、防災機能の維持・向上にもつながります。

つきましては、誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを目指すため、社会資本整備総合交付金の確保について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業期間	事業主体	事業概要等
社会資本整備総合交付金 （安全・安心対策事業）	令和8年度～ 令和12年度	市	- 都市公園施設長寿命化対策 6公園（2ha以上） - 都市公園施設長寿命化対策 93公園（2ha未満）



13 新庄川橋の架替えについて（継続）

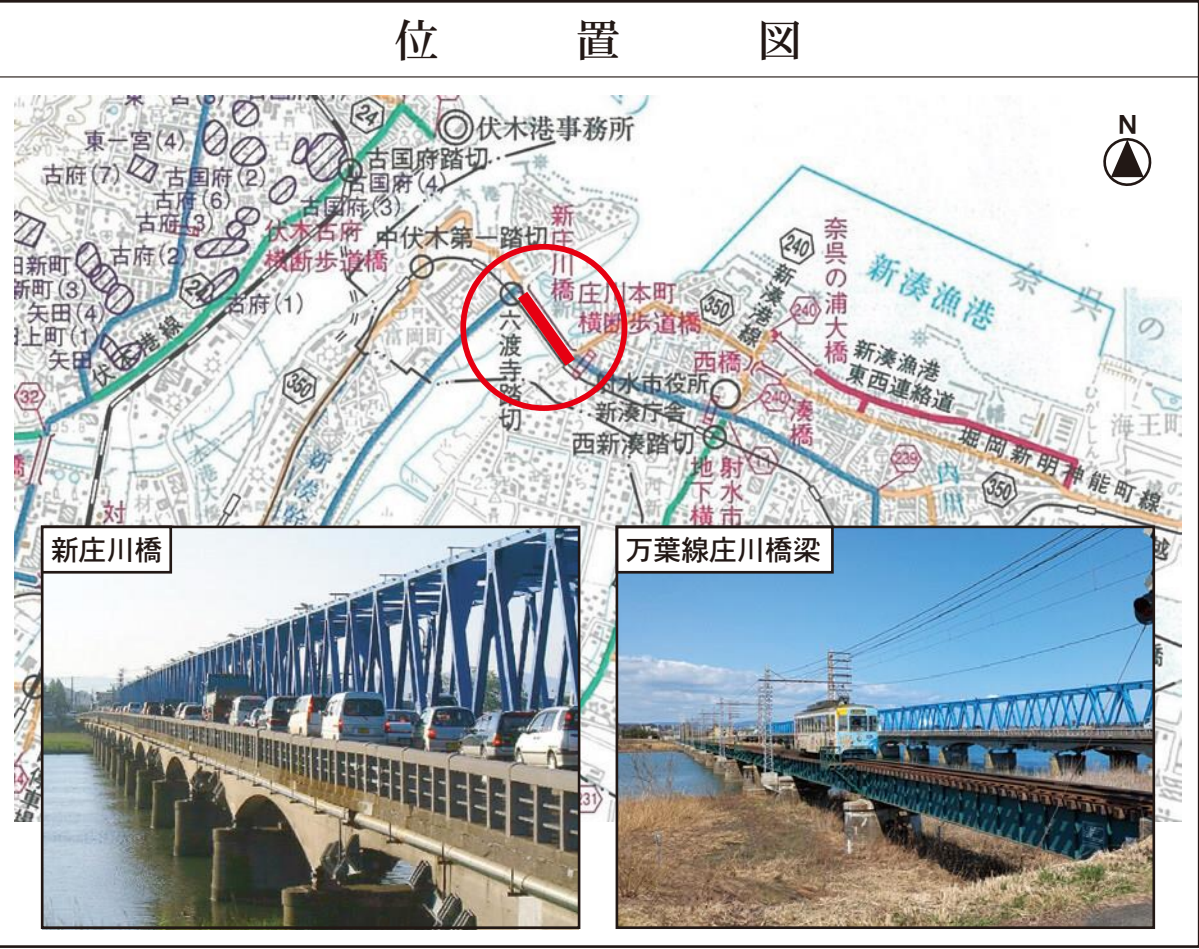
県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

庄川に架かる新庄川橋は、一般国道415号及び一般県道堀岡新明神能町線が重複する路線であり、主要な交通路として、庄西地区や伏木港に至る重要な橋梁です。

本橋梁は、2橋（上下流）に分かれ各1車線橋になっていますが、上流側の橋については築後88年が経過し、また、並行する万葉線庄川橋梁についても、築後93年が経過しており、いずれも老朽化が進んでいます。

県では、本橋梁の事業費の縮減等に対応するため、新庄川橋架替事業設計施工検討委員会を設置し、橋梁整備や旧橋撤去の合理的・経済的な工法検討がなされたところです。

つきましては、検討結果に基づき、道路橋と万葉線軌道が一体となる本橋架替事業の早期完成について、格別のご配慮をお願いいたします。



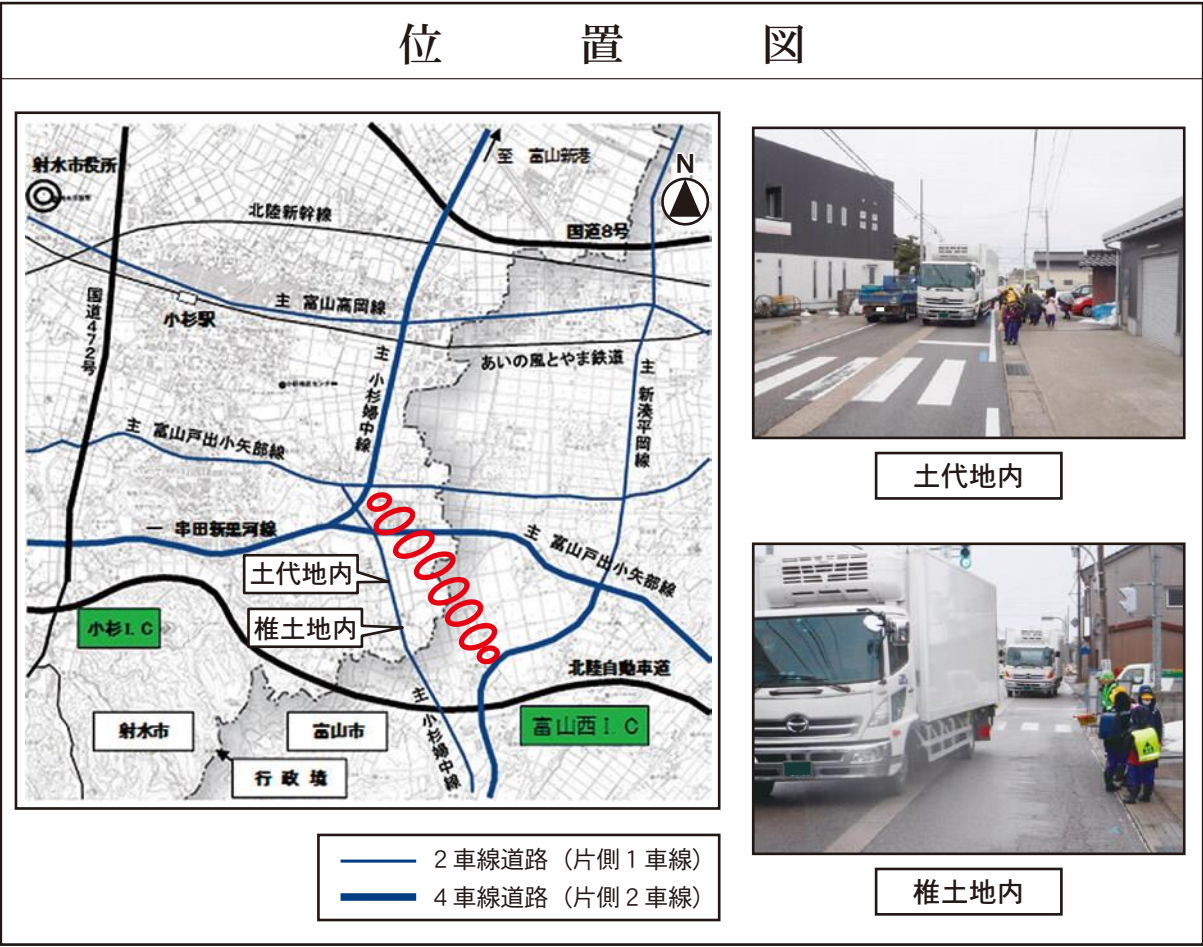
14 主要地方道小杉婦中線のバイパス整備について（再要望）

県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

主要地方道小杉婦中線は、国際拠点港湾伏木富山港新湊地区（富山新港）と北陸自動車道富山西インターチェンジを結ぶ港湾物流を支える重要な路線です。

市内沿線については、住宅が連坦し、道路が狭いため大型車のすれ違いに支障をきたしており、住民は振動と騒音に悩まされている状況です。また、富山西インターチェンジ周辺企業団地の拡張や、東海北陸道の4車線化により、一層の交通量の増加が想定されています。

つきましては、現道の危険箇所の安全対策並びに、伏木富山港新湊地区（富山新港）と北陸自動車道の連絡強化を支援する本路線のバイパス整備について、格別のご配慮をお願いいたします。



15 (仮称)七美四方荒屋線の整備促進について (継続)

県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

本市の北部地区と富山市を結ぶ道路は、一般国道8号及び一般国道415号の2路線が主であり、両路線とも慢性的な交通渋滞と、国道415号に隣接する住宅では、道路幅員も狭く大型車の通行による振動・騒音に悩まされている状況です。

つきましては、この2路線を補完し、国際拠点港湾伏木富山港新湊地区（富山新港）との連絡強化を図る本道路整備の促進について、格別のご配慮をお願いいたします。

位 置 図



16 一般県道姫野能町線（都市計画道路北島牧野作道線）の整備促進について（継続）

県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

本路線は、富山新港背後地と高岡市を直接結ぶ重要な道路であり、北陸新幹線「新高岡駅」や能越自動車道へのアクセス道路として期待されています。

また、一般国道8号及び一般国道415号を補完する道路でもあり、早期完成を望む多くの声が市民から寄せられています。

つきましては、本道路改良事業の整備促進について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
一般県道姫野能町線 道路改良事業 (都市計画道路北島牧野作道線)	高岡市能町～ 射水市作道地内	県	計画延長 3,800m 計画幅員 30m



17 主要地方道高岡小杉線（都市計画道路太閤山高岡線）五歩一交差点立体化事業の整備促進について（継続）

県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

本路線は、高岡市と富山市を結ぶ県西部の幹線道路であり、さらには本市の都市環状軸を形成する基幹道路でもあります。

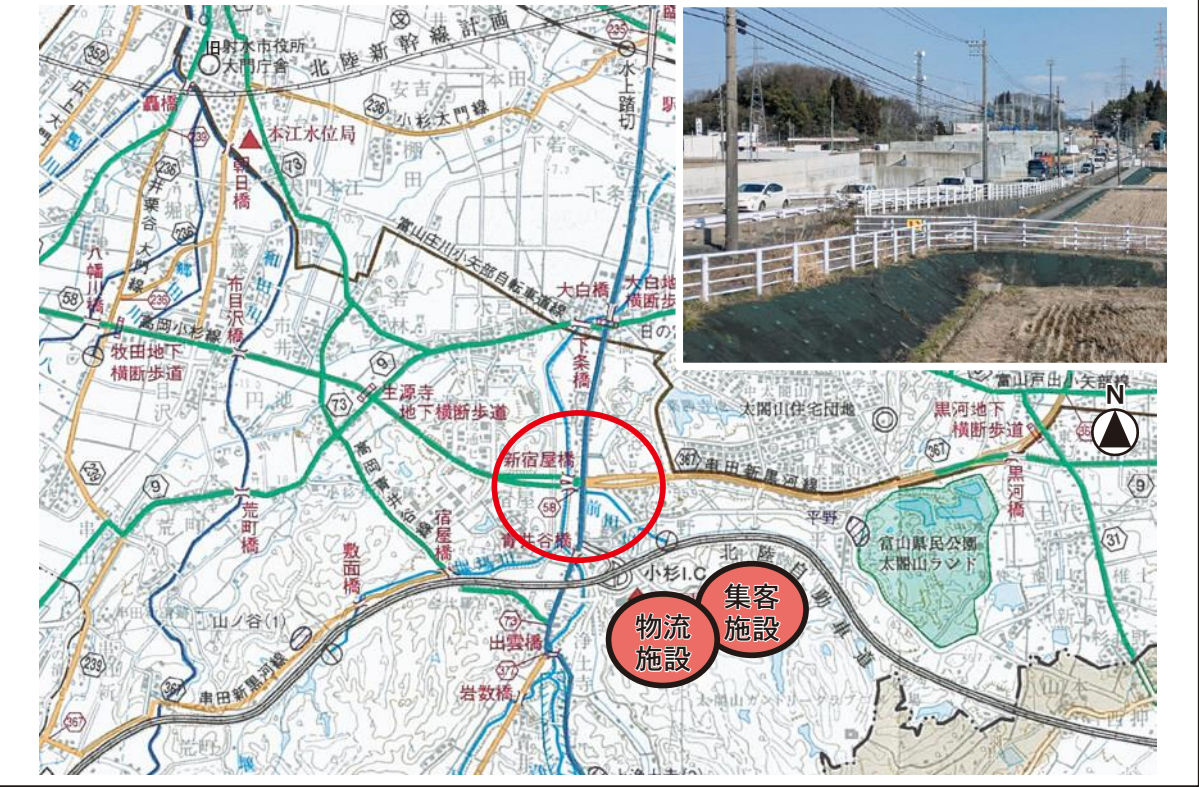
現在は4車線道路で供用されておりますが、国道472号との五歩一交差点は、北陸自動車道・小杉ICへのアクセス部となることから、慢性的な交通渋滞に悩まされている状況です。

また、小杉IC南部には大型会員制倉庫店や大型物流業務施設が立地しており、さらには本路線と高岡市側で接続する主要地方道高岡環状線の一部区間の供用も開始されたことから、人・物の流れが一層活発になると想定されます。

つきましては、交差点の渋滞や交通事故等解消のため、本交差点の立体化事業の早期完成に向け、整備促進に格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
主要地方道高岡小杉線 道路改良事業	橋下条地内 ～南太閤山地内	県	計画延長 1,200m 計画幅員 40m (五歩一交差点立体化)

位置 図



18 踏切道の安全対策について（継続）

県	土 木 部 道 路 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

本市内には、「あいの風とやま鉄道線」と「万葉線」の鉄道路線が走っており、県道や市道などと交差する踏切は36箇所となっています。

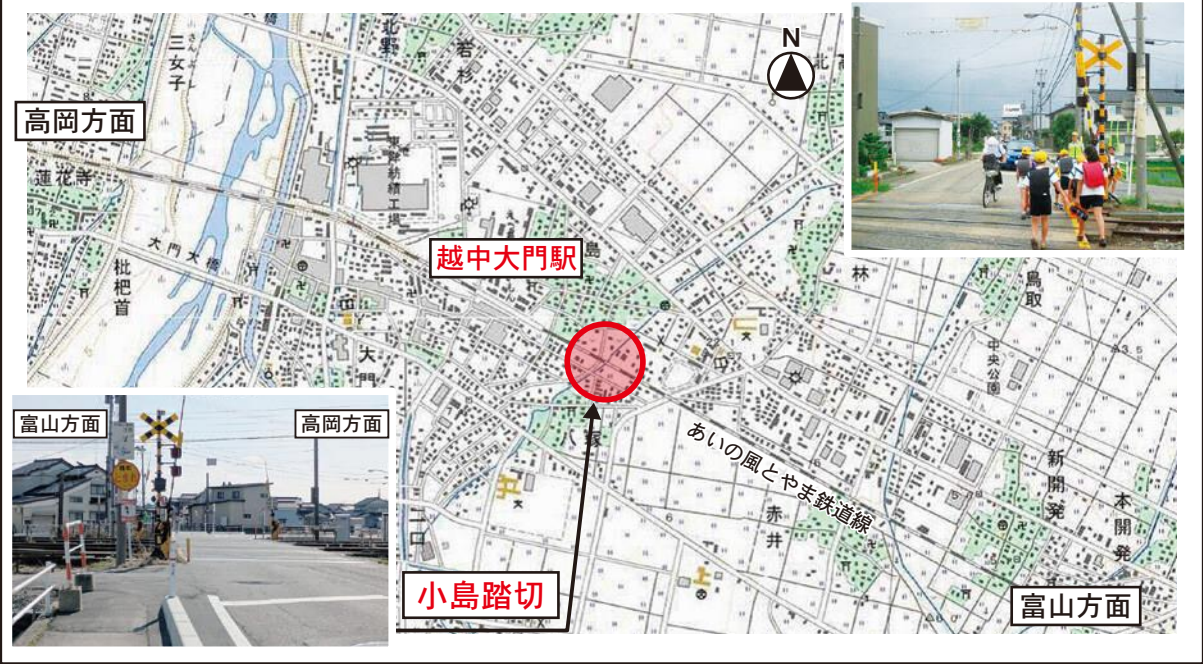
とりわけ通学路にある踏切については、安全対策が強く求められています。

中でも「あいの風とやま鉄道線」と「県道八町大門線」とが交差する「小島踏切」は、多くの児童・生徒が通学することから、通学路における安全対策が必要な踏切として、平成29年1月に「踏切道改良促進法」の「改良すべき踏切道」としての指定を受けております。

つきましては、「小島踏切」の早期改良について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
踏切道改良事業	越中大門駅東側の 小島踏切	県 あいの風とやま鉄道 JR貨物	踏切道改良

写真・位置図等



19 液状化対策の推進について（継続）

国	国土交通省都市局 北陸地方整備局
県	土木部建築住宅課

本市港町地区では、令和6年能登半島地震による液状化被害が集中したことから、国土交通省の直轄調査による技術的支援を受け、道路等の公共施設と宅地との一体的な液状化対策について検討を行っています。

当該地区は、今後、同程度の地震が発生した場合、再び液状化が発生する可能性があることから、住民が将来にわたり安全・安心して暮らせるよう、液状化対策の推進に係る社会資本整備総合交付金の確保について、格別のご配慮をお願いいたします。

併せて、液状化対策が長期間に渡ることを踏まえ、地下水位低下工法の効果を継続して発揮するため、必要となる排水設備等の長寿命化に対する継続的な財政的・技術的支援についてご配慮をお願いします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
社会資本整備総合交付金 （宅地耐震化推進事業）	港町地区	市	計画面積 2.4ha 液状化対策に向けた詳細設計及び対策工事

写真・位置図



20 庄川直轄河川改修事業の整備促進について (継続)

国	国土交通省水管理・国土保全局
	北陸地方整備局
	富山河川国道事務所
県	土木部河川課
	高岡土木センター

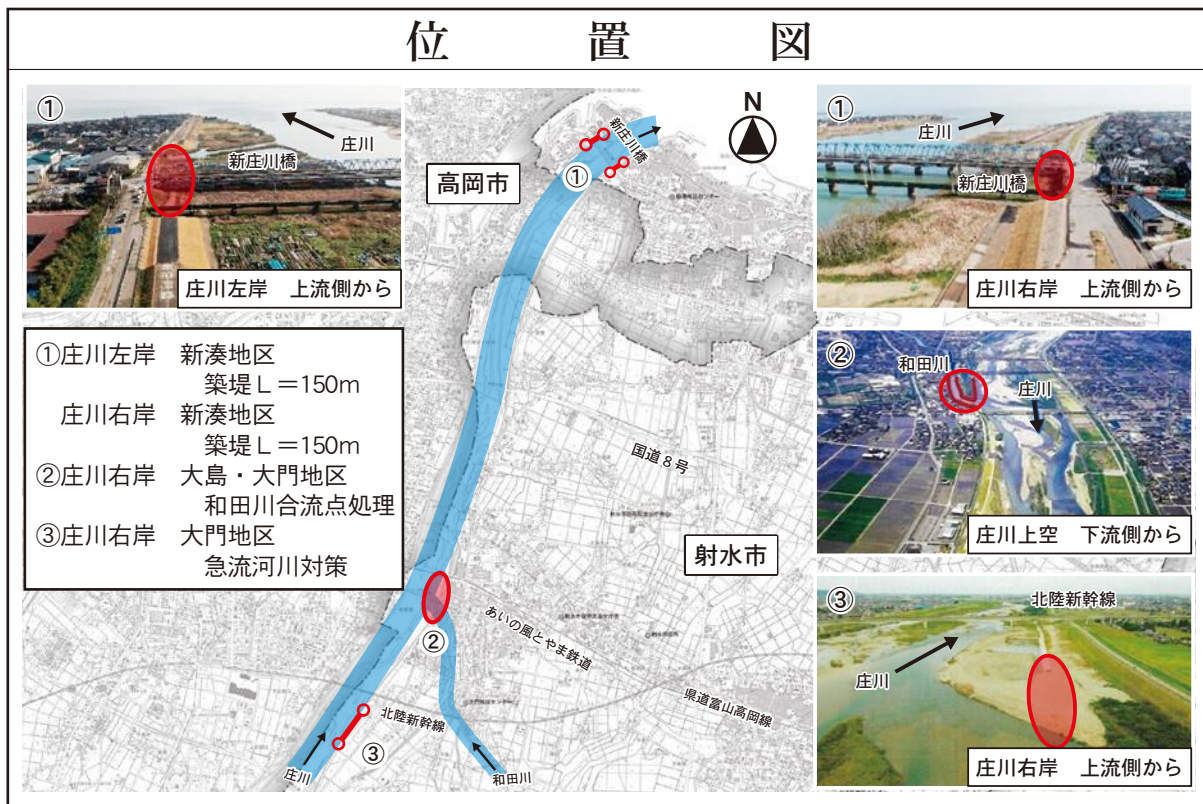
庄川流域の新湊、大島及び大門地区には、堤防高の不足により流下能力が低い箇所、また、洪水時に支川和田川へ背水し、外水氾濫が生じる可能性のある合流点や河岸の洗掘・侵食の恐れがある堤防など、多数の重要水防箇所が示されています。

平成16年の台風第23号の出水では、庄川が氾濫危険水位を超えたため、庄西地区や大門及び土合地区で避難勧告を発令し、また、令和5年7月豪雨では庄川の支川である和田川が氾濫危険水位を超えたため、沿川住民に避難指示を発令するなど、流域治水の重要性を再認識したところであり、早急な洪水対策が求められています。

本市においては、庄川水系流域治水プロジェクトに基づき、被害の軽減対策として洪水ハザードマップ、マイ・タイムラインの周知及び雨水貯留施設の整備等に取り組んでいるところですが、洪水氾濫を防ぐための治水対策等の推進を強く望むものです。

つきましては、庄川直轄河川改修事業の早期完成について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
庄川直轄河川改修事業	庄川左岸・右岸（築堤） 庄川右岸（合流点処理） 庄川右岸（護岸）	国	堤防築堤 合流点処理 急流河川対策



21 伏木富山港新湊地区（富山新港）における港湾機能の強化と長寿命化の推進について（継続）

国	国 土 交 通 省 港 湾 局
	北 陸 地 方 整 備 局
	伏 木 富 山 港 湾 事 務 所
県	土 木 部 港 湾 課
	富 山 新 港 管 理 局

今後、発生 of 切迫性が指摘されている南海トラフ地震や首都直下地震に備え、速やかに災害に強い海上輸送ネットワーク機能の構築に向けた対策を講じることが必要です。

つきましては、太平洋側の大規模災害時におけるコンテナ貨物のバックアップ機能を担うためにも、日本海側の国際拠点港湾として、コンテナターミナル機能の強化・拡充や、港湾施設の整備推進について、格別のご配慮をお願いいたします。

また、令和6年能登半島地震では富山新港においても港湾施設に被害が発生したことから、国土強靱化や近年の災害の頻発化及び激甚化への対応を図るため、既存港湾施設の機能維持及び長寿命化とともに、大規模災害時における被災地支援のため、港湾を核とした防災拠点機能の確保や海上支援ネットワークの形成についても格別のご配慮をお願いいたします。

事 業 名	事 業 箇 所	事業主体	事 業 概 要 等
港 湾 改 修 事 業	北ふ頭 国際物流ターミナル	国・県	水深12m岸壁の延伸整備（3万トン級コンテナ船の2隻同時接岸に対応するもの） コンテナヤードの拡張 泊地の暫定水深解消（12m→14m）
予 防 保 全 事 業 港湾メンテナンス事業	富山新港	国・県	既存港湾施設の機能維持及び長寿命化 ・道路（東西線）の耐震機能維持 ・新港大橋の耐震補強

位 置 図



22 伏木富山港新湊地区（富山新港）海王岸壁におけるクルーズ船受入機能の拡充について （継続）

国	国 土 交 通 省 港 湾 局
	北 陸 地 方 整 備 局
	伏 木 富 山 港 湾 事 務 所
県	観 光 推 進 局 観 光 振 興 室
	土 木 部 港 湾 課
	富 山 新 港 管 理 局

伏木富山港新湊地区（富山新港）の「海王岸壁」は、旅客船専用岸壁として整備され、帆船海王丸や新湊大橋と雄大な立山連峰を望むことができるクルーズ船の寄港に最も適した環境を備えています。

近年の世界的なクルーズ人口の増加に伴い、クルーズ船の大型化が進んでいることから、県では、令和7年度から5万トンクラスのクルーズ船寄港に対応する係留ドルフィンの整備に取り組まれており、引き続き、県と連携した誘致活動を行うことで小・中型クルーズ船の寄航数の増加が見込まれます。

つきましては、C I Q機能を保有する旅客ターミナルの整備など更なるクルーズ船受入機能の拡充について、格別のご配慮をお願いいたします。

写 真・位 置 図 等



海王岸壁に入港するアザマラ・パシュート



内川を楽しむ乗船客



海王岸壁での出港セレモニー（越中大島太鼓）

23 海王丸パークのリニューアルについて (新規)

県	経営管理部財産管理室民間活力導入・財産活用課				
	土	木	部	港	湾
	富	山	新	港	管

海王丸パークは、多くの県民や観光客から親しまれ、周辺地域の賑わい向上に資する、県を代表する魅力的な施設です。

海王丸パークのシンボルである帆船海王丸は、建造から96年が経過し、老朽化が進行していることから、令和9年度に大規模修繕を行い、2030年の「建造100周年」に向け、引き続き、海王丸パーク内において係留保存することとしています。

一方で、開園から30年が経過し、老朽化が進んでいることや、利用者のニーズが多様化していることから、新たな賑わい創出等に対する取組が求められています。

つきましては、海王丸パークのリデザインによる再整備計画を策定され、帆船海王丸の魅力を活かし、利用者のニーズを捉えたりリニューアルに取り組まれるよう、格別のご配慮をお願いいたします。

位 置 図

○海王丸パーク（リニューアル）



24 海老江海浜公園の魅力向上・賑わい創出に向けた取組の推進について（継続）

県	経営管理部財産管理室民間活力導入・財産活用課
	観光推進局観光振興室
	土木部港湾課
	高岡土木センター

本市では「みなと」を核とした地域活性化への取組を推進する上で、富山新港東西埋立地を「射水ベイエリア」と位置付け、交流人口の拡大や経済効果を高めるための施策を進めることとしています。

海老江海浜公園は、海と砂浜を背景に芝生が広がり、新湊大橋や海王丸パークに近接するロケーションと相まり、海水浴場の開設時には、民間事業者が主体となり各種イベントが開催されるなど、多くの人で賑わう一方、海水浴場開設時以外は閑散としている状況にあります。

つきましては、魅力ある地域資源である海老江海浜公園全体の更なる賑わいを創出するため、供用予定の東側エリアにおける海岸整備の早期完了と、民間事業者のアイデアとノウハウを活かした様々なサービスを展開できるよう、施設の柔軟な管理・運営について、格別のご配慮をお願いいたします。

写 真・位 置 図 等



魅力の向上や賑わい創出に向けたこれまでの取組



海老江海浜公園（整備済）の状況



東側エリア（整備予定）の状況

25 庄川水系利賀ダムの建設促進について（継続）

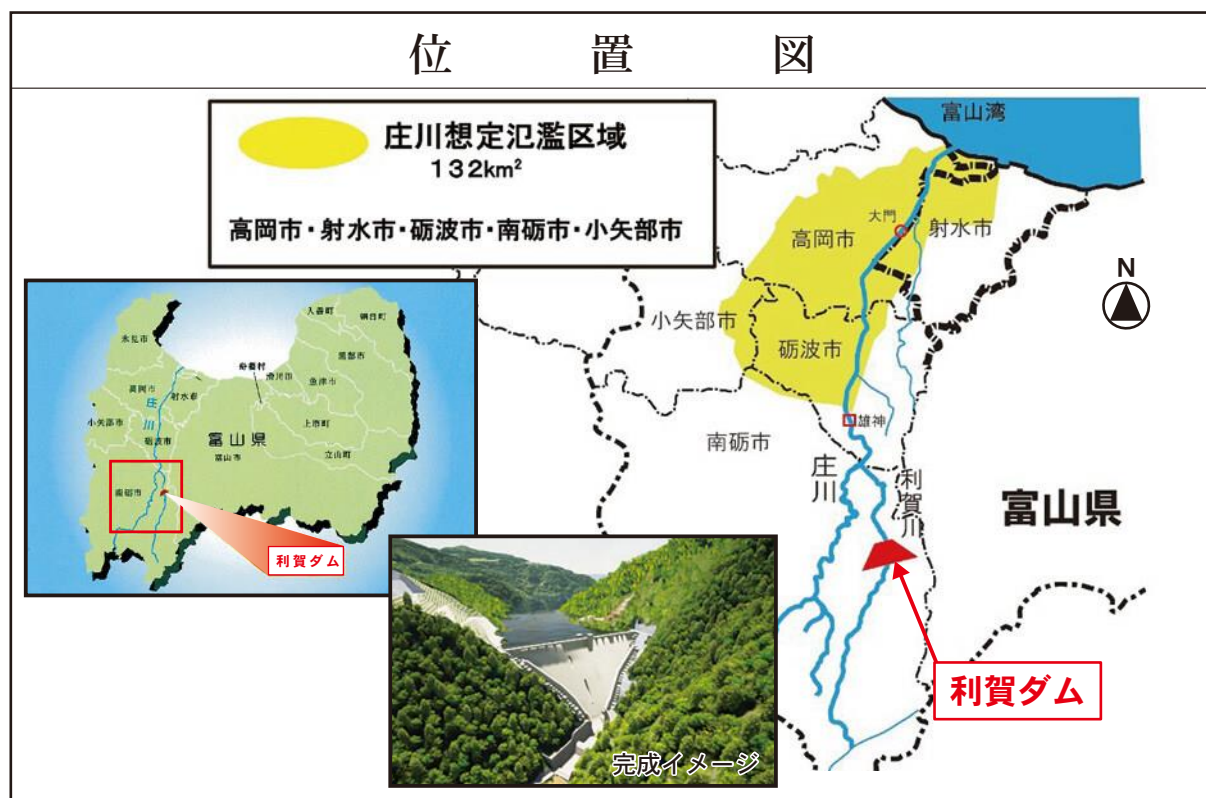
国	国土交通省水管理・国土保全局
	北陸地方整備局
	利賀ダム工事事務所
県	土木部河川課

近年の気候変動に伴い水害が激甚化・頻発化しており、本市においても、平成16年の台風第23号の出水では、庄川が氾濫危険水位を超えたため、庄西地区や大門及び土合地区で避難勧告を発令し、また、令和5年7月豪雨では、庄川の支川である和田川が氾濫危険水位を超えたため、沿川住民に避難指示を発令するなど、流域治水の重要性を再認識したところであります。

本市においては、庄川水系流域治水プロジェクトに基づき、被害の軽減対策として洪水ハザードマップやマイ・タイムラインの周知等により、地域住民との情報共有や防災意識の向上に努めているところであり、改めて流域治水としての治水事業の推進を強く望むものです。

つきましては、流域住民の安心・安全確保のため、利賀ダムの建設促進について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
利賀ダム建設事業	南砺市	国	多目的ダム建設



26 河道流下断面の確保（親司川・鴨川・下条川・堰場川）について（継続）

県	土 木 部 河 川 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

近年、気候変動による集中豪雨の増加で水害が激甚化・頻発化し、令和5年7月には、富山県内で初めて線状降水帯が発生しています。しかし、親司川・鴨川・下条川・堰場川においては、土砂堆積や水草の繁殖があり、豪雨時に流下断面の不足によるはん濫が懸念されます。

また、水防計画にも重要水防箇所位置付けられている親司川の制水門は老朽化が著しく、洪水時においても水門操作ができない状況であり、はん濫の要因として懸念されます。

つきましては、流域住民の安心・安全を確保するため、洪水災害の防止・軽減に向けた維持管理とともに、河床浚渫、雑木の伐採及び河川占用者への水門施設等の適切な管理指導による河道流下断面の確保対策について、引き続き格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
河川維持修繕	親司川 広上地区	県	河床浚渫 雑木伐採 適正管理
	鴨川 土合～広上地区		
	下条川 戸破～橋下条地区		
	堰場川 宿屋地区		

位 置 図



27 前田川改修事業及び下条川の侵食対策について（継続）

県	土 木 部 河 川 課
	高 岡 土 木 セ ン タ ー

近年、気候変動による集中豪雨の増加で水害が激甚化・頻発化しており、前田川の市管理区間において、たび重なる増水により、道路冠水や農地への水害が相次いで発生しています。その下流部の県管理区間では、一部暫定整備により供用されていますが、その流下断面不足が懸念されております。

また、下条川の河口付近は、高波時において、越波が見受けられるなど、侵食による堤防の弱体化や破堤が懸念されており、右岸に住む市民も不安に感じている状況にあります。

つきましては、前田川護岸改修、並びに下条川侵食対策の事業化に向け、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
河川改修事業	前田川 上野地区	県	護岸改修
	下条川 片口地区		侵食対策

位 置 図



28 法務局地図作成事業について（新規）

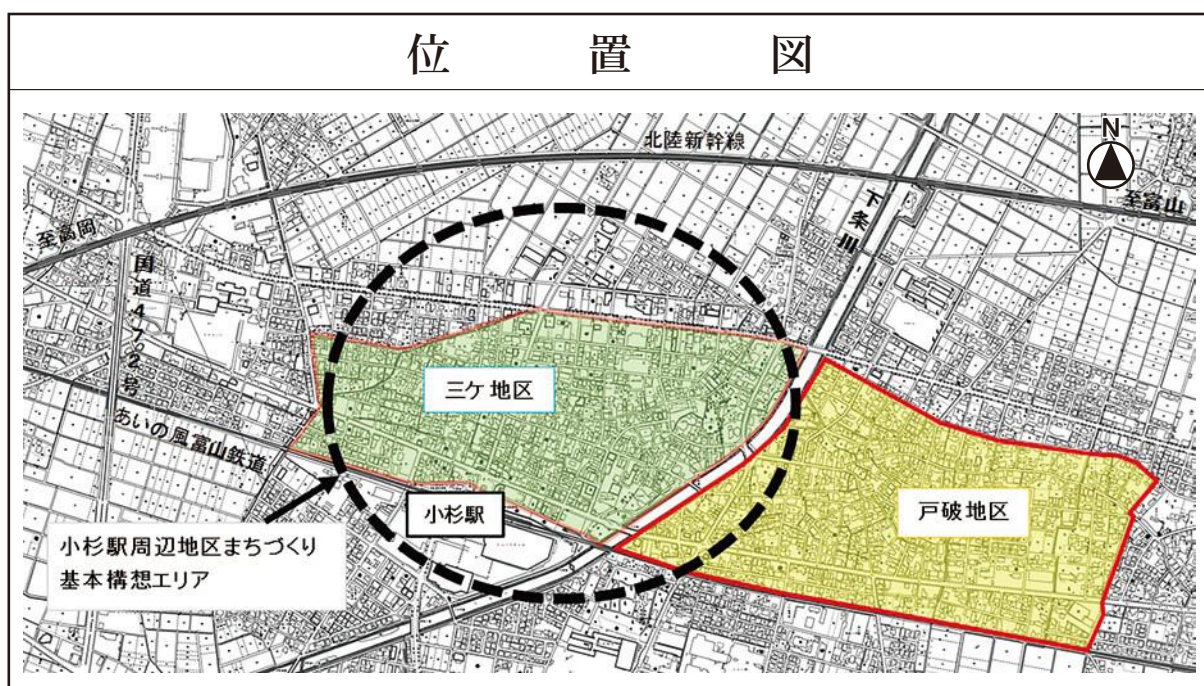
国	法 務 省 民 事 局
	富 山 地 方 法 務 局

本市の都市計画マスタープランにおいては、あいの風とやま鉄道小杉駅周辺を陸の玄関口と位置付けるとともに、小杉駅周辺地区まちづくり基本構想を策定し、市全体の魅力向上に資する機能の充実を図るための取組を進めております。

しかしながら、小杉駅周辺（三ヶ・戸破地区）は、地図と現況との乖離が著しい土地が多く存在しており、まちづくり事業を実施する上で大きな課題となっております。

つきましては、本基本構想の着実な推進を図るため、小杉駅周辺の地籍を明確化する法務局地図作成事業の推進について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
法務局地図作成事業	射水市 三ヶ・戸破地区	国	三ヶ地区 面積約44ha、筆数約3,240筆 戸破地区 面積約49ha、筆数約3,620筆



29 重要施設配水管の耐震化の推進について (継続)

国	国土交通省水管理・国土保全局 北陸地方整備局
県	厚生部生活衛生課

本市の水道管路は、布設後50年以上経過している管路が現在も基幹管路として使用されています。一部更新を進めておりますが、近年、腐食による漏水が度々発生していることから、大規模災害が発生した場合には、断水や濁りの影響が広範囲に及ぶことが想定されます。

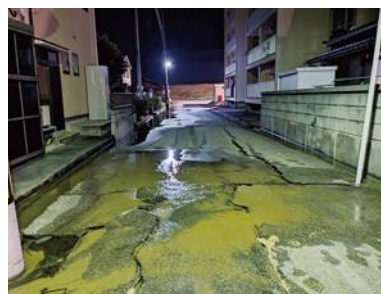
大規模災害において、重要施設への安定した水の供給は、人命救助・医療活動、初期消火、そして市民の生活維持に不可欠であり、重要施設に接続する配水管の耐震化は医療活動の継続性確保や災害応急活動の拠点機能維持、社会全体の早期復旧と安定に直結するため最優先で実施すべき事業です。

市民の生活を支える重要なライフラインである水道の強靱化を計画的に進めていくため、防災・安全交付金の確保について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
水道総合地震対策事業	基幹管路 善光寺～布目 太閤山地区 配水管 本町三丁目外	市	重要施設に接続する基幹管路及び配水管の耐震化を図るもの



非耐震管（VP、TA）継手部からの漏水



令和6年能登半島地震 漏水状況

30 下水道事業（老朽化対策・浸水対策）の推進について（継続）

国	国土交通省水管理・国土保全局 北陸地方整備局
県	土木部都市計画課

本市の下水道管路（汚水、雨水）の多くは、腐食や損耗が激しく、排水能力の低下や路面陥没を引き起こす要因となっています。また、雨水ポンプ場についても、経年による老朽化が著しいことから、施設の老朽化対策を早急に進めることとしています。

また、近年、激甚化・頻発化する豪雨による浸水被害に対応するため、雨水管理総合計画に基づき、優先度の高い地区から計画的に浸水対策を推進することとしています。

つきましては、市民生活を支える重要なライフラインである下水道施設の強靱化を計画的に進めるため、防災・安全交付金の確保について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
老朽化対策事業 （下水道）	汚水 新湊地区（旧桜町処理区） 小杉地区（旧太閤山処理区） 雨水 小杉地区 市内雨水ポンプ場 市内全域マンホールポンプ場	市	管路施設改築（汚水・雨水） 雨水ポンプ場改築 マンホールポンプ場改築 （改築工事）
浸水対策事業 （下水道）	大島地区（小島排水区） 堀岡地区（堀岡排水区）	市	浸水対策施設整備 （雨水管渠工事・ポンプ場 増強）



老朽化した汚水管渠内



大島地区（小島排水区）浸水状況

31 学校教育施設の整備について（新規）

国	文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
県	教育委員会教育企画課

本市では、児童生徒の安全・安心の確保と教育環境の充実を図るため、学校施設の環境整備を計画的に進めています。そうした中で、老朽化が進行している学校施設においては、教育環境の悪化が懸念されており、学校教育の機能面で支障をきたしています。

また、学校は、災害時の緊急避難場所として、地域の防災拠点の役割を果たすことが求められており、非常時を想定した環境の整備も必要となっております。

つきましては、学校教育施設整備の推進について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
片口小学校整備事業 【全体計画】 令和8～10年度	令和9年度 校舎改修第Ⅰ期 2,161㎡	市	・長寿命化予防改修 (屋上の防水層の全面的な改修、躯体の長寿命化を目的とした外壁改修、外部建具の更新、水道・電気設備の更新等) ・大規模改造（トイレ）等



校舎正面



屋上



外壁

32 小学校及び中学校給食費の完全無償化について（継続）

国	文部科学省初等中等教育局
県	教育委員会保健体育課

本市においては、学校給食の食材として、富山県のブランド米「富富富」や、本市の特産である「小松菜、枝豆」をはじめとする地元産農産物を優先的に取り入れ、地産地消を推進するとともに、農作業の体験や生産者、地域の方と触れ合いながら地域の食の理解を深める活動に取り組むなど、安全・安心で豊かな学校給食の提供に努めています。

昨年、国においては小学校の学校給食費の抜本的負担軽減のため「給食費負担軽減交付金」を創設され、一定額の負担軽減を図っていただいたところですが、県内の多くの市町村では本市と同様、一定額を超えた分は地方自治体が負担している状況です。

また、今後、中学校給食についても、一定期間を経た後に無償化を検討することとされていますが、物価高騰に直面する保護者負担の軽減は喫緊の課題であり、義務教育期間を通じた切れ目のない支援を行う必要があります。

つきましては、小学校の給食費負担軽減に当たり、負担軽減基準額の引上げを実施する等、国の責任において小学校給食費の全額を措置するとともに、中学校給食費についても、速やかに全額国庫補助による完全無償化に向けた財政支援措置を講じていただきますよう、格別のご配慮をお願いいたします。

併せて、国が全額公費負担を実施するまでの間は、県内全ての小中学校給食費の完全無償化に取り組めるよう、県においても一定の財政支援を講じていただきますよう、格別のご配慮をお願いいたします。

33 小中学校の英語教育充実に対する財政措置について（再要望）

国	文部科学省初等中等教育局
県	教育委員会教育みらい室小中学校課

令和２年度からの新学習指導要領による英語の必修化に伴い、英語を指導する人材の確保が急務となっています。本市では、これまで、小学校に外国語活動指導員、中学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し、英語力の向上に努めてきました。さらに、平成３０年度からは、小学校においても、新たにＡＬＴを配置し、令和５年度からは体制充実のため、増員を図っています。

ＡＬＴの配置については、資質と指導スキルの高さ及び雇用管理体制の観点から、学校現場では民間事業者のＡＬＴ配置を要請する声が多くなっています。

しかしながら、現行の普通交付税措置においては、ＪＥＴプログラムを活用したＡＬＴ配置に限定されており、民間事業者のＡＬＴや直接雇用の外国語活動指導員に対する財政措置がなされていないため、各校のニーズに応えようとする自治体の大きな財政負担となっています。

つきましては、英語教育の充実に向け、ＪＥＴプログラム以外の民間事業者のＡＬＴ及び直接雇用の外国語活動指導員に対する財政支援について、格別のご配慮をお願いいたします。

射水市のＡＬＴ等配置状況

年 度	A L T	外国語活動指導員
平成２９年度	中学校：４名	小学校：４名
平成３０年度～	小学校：４名 中学校：４名	小学校：４名
令和５年度～	小学校：５名 中学校：４名	小学校：４名

34 県立高校の特色ある教育の充実について (継続)

県	教育委員会教育みらい室県立高校改革推進課
---	----------------------

県立高校の再編につきましては、新時代とやまハイスクール構想検討会議等において議論を重ねられ、令和20年度頃までに3期に分けて34校を20校程度、とりわけ県西部においては、現在の15校を8校程度に再編する方向性が示されております。

その一方、市町村が得られる議論の過程や内容等については、県ホームページに掲載される情報等に限られ、結果として、地元住民には今後の教育環境に対する不安と懸念が高まっている状況にあります。

本市における高校進学の実況（令和7年度末時点）は、中学3年生約760人に対し、市内県立高校の入学定員が440人に留まるなど、多くの中学生が、市外の高校に進学している状況です。市内県立高校3校には、各校の特色ある教育活動を通じ、地域活性化に大きく貢献いただいております、市内中学生にとって大切な進学先となっていますが、現在示された方針で再編が進められた場合、本市の生徒数減少が比較的緩やかであるにも関わらず、進学の実選択肢が現状以上に狭まることを大変憂慮しております。

富山県立大学をはじめ多くの高等教育機関が集積することや、富山市、高岡市に隣接し、公共交通を利用し通学しやすいといった立地環境を踏まえ、今後予定されている高校再編において、本市の強みを生かした魅力的な高校の設置が可能であると考えています。

次代を担う子ども達が自分の興味や関心、夢に向かって学びたいことを学ぶことができる高校教育の環境を整えることを第一に、地域的特性を生かした特色ある新時代とやまハイスクールの設置に向け、地域の声を聞きながら再編を進めていただきますよう、より一層のご配慮をお願いいたします。

35 部活動の地域展開に対する財政支援について (継続)

国	文部科学省スポーツ庁地域スポーツ課
	文部科学省文化庁参事官（芸術文化担当）
	文 部 科 学 省 初 等 中 等 教 育 局
県	教育委員会生涯学習・文化財課
	教 育 委 員 会 保 健 体 育 課

本市においては、生徒数の減少に伴う中学校の部活動の維持や指導者の確保といった課題を解決するため、令和４年度から令和７年度までの４年間ですべての休日の部活動の地域展開を完了しました。今後、令和１３年度までの平日も含めた地域展開に取り組むため、本年度から運営体制の整備、認定地域クラブ制度の創設、公的支援の検討等を進めているところです。

部活動の地域展開に当たっては、教員に代わり生徒を指導する地域人材の確保に係る費用や受け皿となる団体等の運営費、保護者負担の増加に対する支援、新たな認定地域クラブ制度の運営など、各自治体における新たな財政負担が必要となります。

つきましては、生徒の充実した活動機会を確保しつつ、教員の長時間勤務の削減といった学校の働き方改革を円滑に推進するため、部活動の地域展開に対する財政支援について、格別のご配慮をお願いいたします。

部活動の地域展開スケジュール

年 度	内 容
令和４年度から 令和７年度まで	すべての休日の運動部活動、文化部活動の地域展開を実施
令和８年度から 令和９年度まで	平日の地域展開に向けた運営体制の整備、認定地域クラブ制度の創設、公的支援の検討、関係団体等との協議・調整
令和10年度から 令和13年度まで	平日の地域展開の段階的な実施

36 「下村加茂神社の加茂祭（流鏝馬を含む）」の 国重要無形民俗文化財指定について（再要望）

国	文部科学省文化庁参事官（伝統文化・生活文化担当）
県	教育委員会生涯学習・文化財課

加茂神社では、国重要無形民俗文化財「越中の稚児舞」をはじめ、賀茂信仰に由来する多くの特色ある年中行事が、現在まで連綿と受け継がれています。

例年5月1日から行われる加茂祭は、年に一度の例祭とされる同神社最大の年中行事であり、地域において「やんさんま」（富山県指定無形民俗文化財）として親しまれています。

加茂祭の中では、「走馬」・「牛乗式」・「流鏝馬式」といった、中世下鴨神社で行われた賀茂祭の古い形を伝える行事が行われており、荘園ならではの豊作を祈る「牛乗式」は、全国に例がありません。

本市においては、重要な民俗行事である加茂祭の適切な保存継承を図るための調査や保存方法の検討について、保存団体と協力して取り組んでいるところです。

つきましては、「下村加茂神社の加茂祭」のより確実な保存継承のため、国重要無形民俗文化財の指定について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
「下村加茂神社の加茂祭」の 国重要無形民俗文化財指定	射水市加茂中部	国	学術調査の実施、報告書 作成等

写 真



「加茂神社祭礼図絵」（明治42年）



牛 乗 式

37 「射水市海老江・大門の曳山行事」の富山県文化財指定について（再要望）

県	教育委員会生涯学習・文化財課
---	----------------

本市では、精巧な前人形や北洋漁業への出漁者が伝えた木遣り唄等、曳き子と観覧者が一体となって楽しむ要素を取り入れながら継承されてきた「海老江曳山行事」の曳山3基、また、曳山の形状や囃子など、高岡御車山からの影響が見られ、曳山の改変が少なく、明治期の古い構造形式を今に伝えながら継承されてきた「大門曳山行事」の曳山4基と、各地域に由来する特色ある曳山行事が保存継承されており、放生津と合わせると、市内の曳山は県内最多の20基になります。

伝統工芸技術の粋を結集して作られた曳山は、典雅な曳山囃子とともに、町衆の努力によって現在まで連綿と引き継がれてきたものです。

海老江・大門の曳山は、それぞれ市指定文化財に指定しており、曳山の実測図作成や行事の詳細調査を継続的に実施して調査報告書を刊行するなど、文化財としてあるべき保存継承に取り組んでまいりましたが、必ずしもその方策が十分であるとは言えない状況にあります。

つきましては、「射水市海老江・大門の曳山行事」について、富山県の文化財に指定してくださるよう、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
「射水市海老江・大門曳山行事」の富山県文化財指定	射水市海老江、大門	県	調査研究等

写 真



海老江曳山行事



大門曳山行事

38 民俗文化財伝承・活用等事業（放生津八幡宮祭の曳山・築山行事）の推進について（継続）

国	文部科学省文化庁参事官（伝統文化・生活文化担当）
県	教育委員会生涯学習・文化財課

国重要無形民俗文化財「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」は、曳山・築山という形態の異なる二つの「山」を伝える行事であり、令和7年12月にはユネスコ無形文化遺産「山・鉦・屋台行事」へ登録されました。

伝統行事の継承のため、曳山や築山の用具等を健全な状態で維持していくことが必要ですが、そのための修理等には多額の経費を要します。これらの経費は、本市の補助と文化財保護団体の負担によって賄ってきましたが、人口減少や修理費の高騰なども重なって地元の負担は年々増加し、今後の維持管理が一層困難となっていくことが危惧されております。

つきましては、安全で適正な行事の実施と保存継承を図るため、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金の確保について、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（民俗文化財伝承・活用等事業）	放生津・新湊	文化財保護団体	放生津八幡宮祭の曳山・築山行事用具等の修理

写

真



破損箇所の例（中町曳山上山台座）



破損箇所の例（築山台擬宝珠高欄）

39 (仮称) 高志大学の設立について (新規)

国	文部科学省 高等教育局
県	経営管理部 学術振興課

富山県内において人口減少及び少子高齢化が進む中、進学や就職を契機とした若者世代の県外・市外への流出が大きな課題となっており、将来にわたって地域コミュニティや経済への影響が懸念されております。

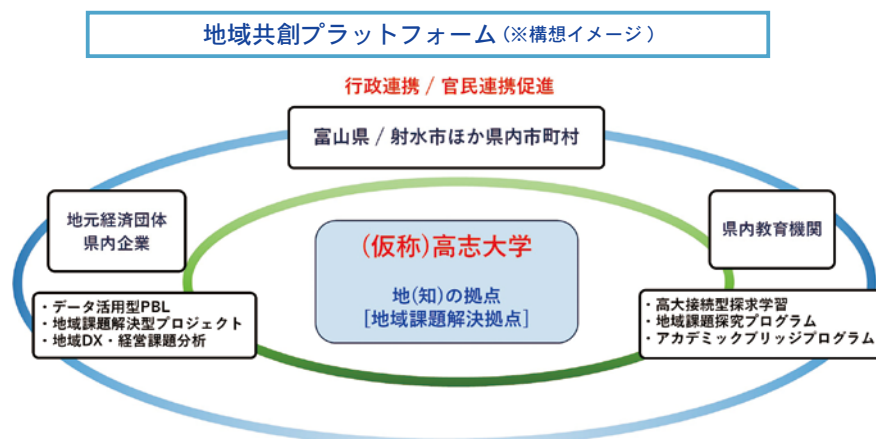
これらに対応するため、本市では、第3次総合計画の主要施策の一つに「高等教育機関等の新たな学びの場の創出」を掲げ、若者の地元定着や若者視点による地域課題の解決に向けた取組を推進しています。

こうした中、市内高等教育機関である学校法人浦山学園より、新たに大学を設立し、企業や団体等との広域的な連携による人材育成を展開する計画が発表されました。新たな大学の設立は、「若者の県内定着の促進」、「新たな関係人口の創出」、さらには「県内各分野を支える高度人材の安定的な供給」を実現し、富山県全体の地方創生に寄与するものと大きく期待しております。

つきましては、本計画の実現並びに新大学の円滑な運営に向け、格別のご配慮をお願いいたします。

事業名	事業箇所	事業主体	事業概要等
(仮称) 高志大学 設置事業	射水市 三ヶ	学校法人 浦山学園	学部学科：経済経営学部経済経営学科 修業年限：4年 入学定員：95人／年 開設時期：令和10年4月 (令和8年9月認可申請)

【大学の特徴】 地域（企業・行政・教育機関）と連携した取組スキーム



【参考】 大学進学者の自県大学進学率

	18歳人口 (令和7年10月1日)	私立大学入学定員 (令和8年度)	国公立大学入学定員 (令和8年度)	自県大学進学率(※) (令和6年度)
富山県	8,557 人	1校 210 人	2校 2,285 人	20.3 %
石川県	10,497 人	8校 4,405 人	5校 2,431 人	49.0 %
福井県	7,016 人	3校 995 人	3校 1,405 人	31.3 %

※大学進学した高校生のうち、出身高校と同じ県内の大学に進学した割合
学校基本調査を元に、文部科学省において算定

射水市民憲章

射水市は、雄雄しい立山を東に仰ぐ富山県のほぼ中央に位置しています。

「いみず」という地名は、わが国最古の歌集「万葉集」の中にもすでに表われています。

わたしたち市民は、この風土と歴史、輝かしい文化と産業を、誇りと責任をもって未来へと引き継ぎ、一人ひとりが豊かに、よく生きるまちをつくりあげるため、ここにこの市民憲章を定めます。

— まもろう

海、川、野そして里山に生命あふれるまち

— 育てよう

心身ともに健やかで明るく潤いのある家庭を築くまち

— 生みだそう

学びと勤労に励み安らぎとにぎわいのあるまち

— 創りだそう

文化を受け継ぎ産業をさかんにし豊かで活力のあるまち

— 深めよう

世界に開かれた人の和のゆき交うまち

平成十九年一月一日制定

射水市民の歌

水きららかに街を射^さして

作詩 村田さち子
作曲 池辺晋一郎

一 果てしなく 広がる

いみず野の キャンパス
描かれた夢は 流れになり
水きららかに 街を射して
日本海へ

この街を歩くだけで
心湧きたつ

かけがえのない ふるさと

二 いみず野に さざめく

幸せの コーラス

それぞれの祈り 響き合い
歌きららかに 風と流れ
あいの風に

この街で生れ育ち

君に出会えた

かけがえのない ふるさと

きららかな きららかな ふるさと ああー！

平成十九年三月三十一日制定